

みずほCustomer Desk Report 2017/02/20号(As of 2017/02/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.34	1.0669	120.92	0.9973	1.2481	0.7696
SYD-NY High	113.50	1.0676	121.10	1.0033	1.2510	0.7713
SYD-NY Low	112.62	1.0605	119.70	0.9969	1.2388	0.7656
NY 5:00 PM	113.00	1.0605	119.75	1.0027	1.2409	0.7675
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.905/11.405		Δ25RR	0.295	Yen Call Over	
NY DOW	20,624.05	4.28	債券市場			
NASDAQ	5,838.58	23.68	日本2年債	-0.2360	▲0.1bp	
S&P	2,351.16	3.94	日本10年債	0.0940	▲0.5bp	
日経平均	19,234.62	▲112.91	米国2年債	1.1882	▲1.4bp	
TOPIX	1,544.54	▲6.53	米国5年債	1.9015	▲3.5bp	
シカゴ日経先物	19,150	▲140.00	米国10年債	2.4147	▲3.2bp	
ロンドンFT	7,299.96	22.04	独10年債	0.3020	▲4.7bp	
DAX	11,757.02	▲0.22	英10年債	1.2110	▲4.8bp	
ハンセン指数	24,033.74	▲73.96	豪10年債	2.8030	0.3bp	
上海総合	3,202.08	▲27.54	為替市況	USD/CNH	6.8508	0.0015
USDJPY 3M Vol	11.36	0.10%		ドルインデックス	100.95	0.51
USDJPY 6M Vol	11.02	0.05%	商品市況	CRB指数	192.123	▲0.64
EURJPY 3M Vol	13.33	0.66%		NY金	1,239.10	▲2.50
EURJPY 6M Vol	12.28	0.32%		WTI	53.40	0.04
				Dubai Spot	53.78	▲0.06

東京	ドル円相場は、113.34レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を削ると、ドル円は東京時間高値113.50まで上昇。しかし、一段と上昇するには材料不足で、113円台前半を中心とした値動きとなる。開議後の会見で麻生財務相がリーマンショック後にドル円は120円から70円まで円高となり日本が一番割を食ったとの趣旨の発言をしたものの相場へ影響は限定的となった。その後も週末を控えて動意を欠いたほか、通貨オプション市場では行使期日を迎える取引が多数積みあがっていたことで相場の値動きが抑制されたとの見方もあり、ドル円は113円台前半での推移が継続。結局、ドル円は113.38レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は下落した。113.38レベルでオープン。前半は28日の米国大統領議会演説を前にトランプ政権運営をめぐる先行き不透明感が意識されたことや、欧州株が軟調に推移したことを背景にリスク回避ムードから112.70まで値を下げた。後半は、大統領デーによる米国3連休を前に様子見ムードの中、112円台後半での推移となり112.86レベルにてNYへ渡った。ロンドンでも下落した。1.2498レベルでオープン。発表された英1月小売売上高が前月比0.3%減と予想を大幅に下回ったことを受け、1.2388まで値を下げた。その後は、特に注目する指標もなくレンジ推移となり1.2427レベルにてNYへ渡った。(ロンドンホールリー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	海外時間のドル円は軟調に推移し、112.86でNYオープン。朝方は下値を試す動きに112.62まで下落。しかし、新規のドル売り材料に欠ける中、この水準では下げ渋った。米1月景気先行指数は予想を上回ったが、市場への影響は限定的となった。米3連休を控えボジション調整主体の動きとなり、ドル円は112円後半の小幅レンジで推移した。その後、米株が前日比マイナスイ圏で軟調に推移する動きや、低水準で推移する米金利の動きを受けて、113円台手前で上値の重い推移となる。尚、開催された米中財務相会談ではムーン米財務長官が「この先はより均衡な二国間の経済関係を達成することが特に大事」と発言したが、市場の反応は限定的だった。結局ドル円は、113.00レベルでクロスした。一方ユーロは1.0650でNYオープン。フランスにおけるルペン候補の台頭等ポピュリズムへの懸念が強まりユーロが売られやすくなっていることや、前日高値を上抜けできなかったことで下値を試す動きが強まり、1.0605まで下落。結局、同水準でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
2月17日	18:00	欧	経常収支(季調前/季調後)	12月 €47.0B/€31.0B	-/-
	18:30	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 -0.2%/2.6%	0.7%/3.9%
	18:30	英	小売売上高(含自動車燃料、前月比/前年比)	1月 -0.3%/1.5%	1.0%/3.4%
2月18日	00:00	米	景気先行指数	1月	0.6%

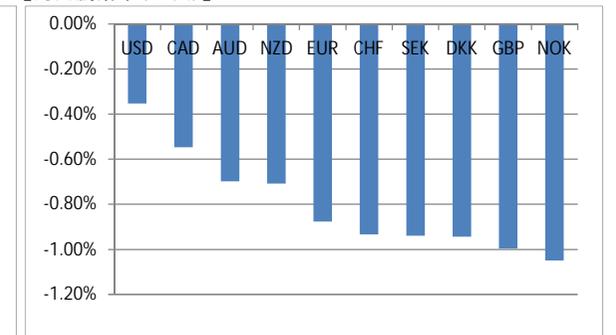
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
2月20日	08:50	日	貿易収支(調整前/調整後)	1月 -¥625.9B/¥275.5B	¥641.4B/¥356.7B
	10:15	米	マスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
2月21日	-	米	米国休場(大統領デー)	-	-
	00:00	欧	消費者信頼感(1次速報)	2月 -4.8	-4.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.60-113.40	1.0580-1.0680	119.40-120.60

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場のドル/円相場は上値の重い展開。アジア時間に113円台前半で動意なく推移していたドル/円は、欧州時間に「仏大統領選において左派候補が共闘を模索」とのヘッドラインを受け、反ユーロを掲げるルペン候補勝利の可能性に対する懸念から世界的に国債利回りが低下すると、112.62まで連れ安となった。その後は米株市場が反発する中でドル円もやや値を戻す場面もみられたが、結局113.00付近でクローズしている。本日のドル/円相場は動意に乏しい展開を予想。市場ではトランプ米大統領による税制改革への期待と仏大統領選への警戒感が交錯している状況であり、方向感が出づらい状況となっている。本日は米国市場が休日でもあり、ドル/円は既往レンジ内でもみ合う展開となるだろう。